

平成20年度 生活創造大学 「スローライフ研究科」 提言

私たちスローライフ研究科では『YOU・悠・遊』をテーマに、悠然とそして遊び心を持って、人生をゆっくり歩もうと、1回の学外研修を含め計8回の講座を開催し学習をしました。

その中で多可町へ3つの提言をいたします。

1. 最初の提案は、『私たちもきれいな水を利用し、下流で生活する人達へもきれいな水を流そう』です。

学外研修で行った滋賀県高島市新旭町の水や川に対する取り組みでは、地域住民皆で川を守り、きれいな水を守り、琵琶湖へきれいな水を送るために努力されている現状を知りました。

第4回講座「山は生きている～間伐材の有効利用～」と第5回講座「ちょっと覗いてみませんか？～棚田保全でスローライフ」での学習の中では、山や棚田を守ることは、「災害から地域を守る・自然を守る・水を守ることになる」と教えていただきました。

もし、100年後に生まれてくる人達と話しができるとすれば、その人達は現在の私たちに何を望むと思いますか？

おそらく大多数の人は、「美しい自然を残して欲しい。公害のないきれいな水の流れる川を残して欲しい」と言うでしょう。

現在の私たちには、下流で生活する人達へ、また、私たちの子孫のために、きれいな水の流れる美しい川を守る責任があると思いますがいかがでしょうか。

2. 次の提案は、『多可町のホームページに多可町の絶景四季の100選を掲載してはいかがでしょうか』です。

多可町に住む人は多可町の美しさに気付かないかもしれませんが、町外から来られた人たちは、「多可町には美しい風景がたくさんありますね」とよく言われます。

多可町内には、西日本一のラベンダーパーク多可もオープンしています。このラベンダーパーク多可に来られる人たちの何%かは、多可町のホームページを開き、ラベンダーパーク多可とともに多可町はどのようなところなのか関心を持って見られると思います。そこに多可町の四季絶景100選と町内観光スポット、飲食店、宿泊施設等の紹介写真と案内マップがあれば、多可町に来るだけではなく、昼はどこかで食事をし、宿泊もしたいと思われるのではないのでしょうか。

もちろん絶景100選では、町内外の誰からの応募でも受付し、メールでの送信写真でも全て可とします。

四季の100選ですから受付期間は1年間とし、100選に取り上げられた写真には、その人の名前、撮影日時、撮影場所を記載するとよいと思います。

3. 3つめの提案は、『空き家バンクの活用』です。

現在、多可町には空き家バンクがありますが、知っていない住民が多いように思われます。もっと積極的に空き家バンク登録条件等を広報されてはどうでしょうか。

町内住民も、そのようなことがわかっているならば、自宅の近くに空き家があったときに、持ち主等に空き家バンクに登録することを勧めることもできると思います。

ちなみに現在は八千代区の2件の登録のみです。

農村機能の維持や都市と農村との交流による活性化を図るとともに、最近の自然志向や田舎暮らし志向に対応するにはよいことだと思います。

以上3点を提言いたします。